

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立住之江区老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課(電話:06-6208-8054)
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足と回答される方」の割合
数値目標	84.6%以上(26ある老人福祉センターで実施(H30年度～令和2年度)したアンケートの平均)
指定管理者名	社会福祉法人大阪市住之江区社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足と回答される方の割合
数値目標	84.6%
年度実績	81.6%
達成率	96.5%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	17,025	10,217	6,808

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績－計画)	主な要因
業務代行料	実績	17,557,800	17,657,800	0	－
	計画	17,557,800	17,657,800		
その他	実績	64,369	37,468	64,369	－
	計画	0	0		
合計	実績	17,622,169	17,695,268	64,369	－
	計画	17,557,800	17,657,800		

支出		当年度	前年度	差異(実績－計画)	主な要因
人件費	実績	12,273,081	14,172,585	-1,826,919	職員欠員による減。
	計画	14,100,000	14,100,000		
物件費	実績	3,571,709	3,097,035	113,909	水道光熱費の高騰による増。
	計画	3,457,800	3,557,800		
合計	実績	15,844,790	17,269,620	-1,713,010	－
	計画	17,557,800	17,657,800		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1)成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足と回答される方」の割合	96.5%	B	感染症による影響がある中で、本市が定める水準を概ね達成している。

(2)市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・消耗品等の一括発注及び比較見積調達並びに節電による経費節減。	B	光熱費の高騰があったが、消耗品等の一括発注を行うなど、市費の縮減に努めた。

(3)管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・併設施設と連携して消防訓練を複数回実施することにより利用者の安全管理を図っている。 ・感染症対策のため、検温及び手指消毒などの対策を実施している。
事業計画の実施状況	B	・スマホ活用講座は広くニーズに応えられるよう毎月テーマを変えて開催し、講座開催後にボランティアによるスマホ個別相談会を開催するなど、工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・さきしま地域包括支援センターと認知症サポーター養成講座を共催するなど、地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・個人情報保護規程などを定め、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、節電を行うなど実効性のある取組を行っている。

令和4年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

(1)調査方法 センター利用者に対してアンケート調査を実施
(2)回答者237人(未記入者含む)
(3)質問項目 ア 基本的な事項(年齢、居住区等) イ 満足度 ウ 感染症による影響、所持している電子機器等
(4)結果 ・総合満足度において、満足(やや満足)と回答される方が81.6%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6 外部専門家意見

1 参加者が減少傾向のウクレレサークルについて、参加者増加を目的とした体験会を実施したことは良い取組であり評価できる。
2 開放事業は良い取組であることから、引き続き実施していただきたい。また、将棋大会を開催するなど解放事業を発展させる取組について検討していただきたい。
3 センター運営が良好に推移している点は評価できるが、事業報告書のPDCA記載方法について、繋がりが見えないため同じ項番を振るなどわかりやすく記載していただきたい。
4 センターだよりについて、裏面の構成を見直すなどして写真を添付した活動内容の掲載を検討していただきたい。
5 地域連携している行事について、センターのアウトリーチ事業として繋がるような方法を検討していただきたい。また、地域で活躍してもらうボランティア指導者の育成についても継続して実施していただきたい。
6 人気のある講座について、抽選は実施しているものの実施回数の増加なども検討していただきたい。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		B	ICTの活用や他の施設、団体と連携した事業など利用促進に向けた事業を展開した。当区における利用者アンケートでも、職員対応について満足度が比較的高く、その他の項目でも「やや不満、不満」がわずかであり、設定した目標を概ね達成したと考える。
市費の縮減		B	光熱水費の高騰による物件費の増はあったものの、節電や物品の在庫状況の見極め、購入時の相見積もりによる契約なども定着しており、効率的に管理運営を行った。
管理運営の履行状況		B+	スマホ教室やQRコードの活用により利便性を高めたこと、利用証を持たない方の利用促進など、高齢者が参加しやすい事業、参加へのきっかけづくりや対象者の拡大に取り組んだ。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
施設の管理運営			
事業計画の実施状況			
施設の有効利用			
社会的責任・市の施策との整合性			
総合評価		B	コロナ禍で落ち込んだ利用者数の回復に向け、引き続き、利用促進事業の開発に期待します。 今後は、利用者アンケートにおいても、当区は市全体と比して未記入者の割合が非常に高いことから、各項目に存在する未記入者を減らす努力をお願いしたい。